

社会科学習指導案

日時 11月20日(火) 5校時
展開学級
場所 教室
授業者

1 単元名 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 「戦国武将に学ぶリーダーの条件」

2 単元について

(1) 単元についての考察

本単元は、学習指導要領の大項目の(4)「世界の動きと天下統一」にあたる。本単元は「織田・豊臣による統一事業及び海外との関係のあらましを扱い、政治や社会の大きな変化を理解させるとともに、この時代の文化に対する海外からの影響や武将、豪商などの生活文化に着目させる。」の中の単元である。

本単元で取り上げる近世の日本は、信長の行った様々な事業を後継者として豊臣秀吉が引き継ぎ、家康によって完成をみる。戦国時代の人々は農民であっても、「生活を守るため」や「自治」を得るために武装していた時代であったが、秀吉の諸政策によって「兵農分離」が進み、戦国乱世の時代が終わりを告げ、家康の江戸幕府は、260年にわたる安定した時代になった。また、信長、秀吉、家康の時代の対外関係は、東南アジアやヨーロッパの国々との交流が盛んであったが、徐々に幕府による貿易統制と海禁政策に移行していった。内政、貿易、対外関係などの統制も江戸幕府が長期にわたって持続した要因といえる。

江戸時代の社会では、世襲的身分制度があった。これは、幕藩による封建体制を形づくる重要な骨組みとなっていた。この近世の特色の一つといえる身分制度のもと、秀吉の政権下においてその原型がつくられていた。公家や寺社、土豪的名主層らの勢力を弱め、敵対勢力の武力を封じることは、統一政権の存否に関わる。秀吉はその方策として刀狩令の発布、および身分統制令を行った。

この刀狩の意図する百姓の武装解除と兵農分離政策は、さらに人払令・身分統制令によって進行していく。人払令は大名領内における一村ごとの家数・人数・老若男女を調査させ百姓の移動を禁じたものである。また、身分統制令は、侍・中間・小者・荒子らが町人となったり、百姓となることを禁じ、農民が田畑を捨てて商売を始めたり、武家奉公を禁じた。これらの法令の施行により武士と農民が分離され、しかも武士の多くは城下町に集められたのに対し、農民は転職・移住を禁止され、村落の田畑に緊縛されるようになったのである。

戦国大名たちは耕地面積と生産高を把握するために領内の検地を行っていたようだが、中央集権という立場から検地に着手したのは信長の発想である。信長は荘園領主や大名等の土地所有者に自発的に検地帳を提出させた。記載内容もまちまちであった。これに対して、秀吉の行ったいわゆる「太閤検地」は統一的な基準によって、全国的な検地を実施した。度量の単位を統一し、検地帳に記載される名請人は実際に年貢を負担する耕作者とし、反あたりの標準生産高を石高で示した。太閤検地によって、実際に耕作する小農民の自立をうながし、小作を使役してきた中世的名主層の没落をもたらしている。豊臣政権の行った人払令・太閤検地によって、日本ではじめて全国的な戸籍と土地台帳をもったことの歴史的な意義は大きいと思われる。

本単元でとりあげる中世と近世のはざ間の安土桃山時代は、価値観の大きな変革の時期であり、信長の行った様々な事業を、秀吉が引き継ぎ、家康の江戸幕府へと橋渡しをする時代の転換期でもある。ここで彼らの軍事力の背景や政策、すなわち、政教分離、関所の撤廃や楽市楽座の規制緩和、刀狩りによる武士と農民の身分分離、度量統一による検地など、中世までとは異なる近世社会の枠組みがつくられたことに気付かせたい。

そこで、生徒たちが知っている人物を有効に活用し、歴史に対する苦手意識を少しでも和らげながら関心意欲を高めていける授業展開として、単元の最後の時間である本時では、「戦国武将に学ぶリーダーの条件」という点に主題を置き、今までの学習や意見交換を通して、武士のリーダーとしてのあり方を追求していく。いつの時代にあっても組織リーダーに求められる第一の要諦は、「いかにして部下の心をつかみ、動かすか」である。そしてその力量の差が、組織力の差となって現れる。生徒が主体的な立場に立って議論を深めていく中で、複雑で混沌とした近世社会の社会的事象を近世社会の抱える問題、政策や経済の問題などを多面的・多角的に考察しながら、自ら判断し自分なりの考えを構築する力を育てていきたいと考える。

(2) 生徒の実態

3 生徒指導の観点から

(実態について略) KJ法を取り入れ、生徒たちのイメージや考えを視覚的に振り返る場面を設定した。また、「学び合い」「認め合い」を中心とした話し合い活動を設置した。

一方的に意見や考えを発信するだけではなく、相手の意見や考えを受け入れ、更に自分の考えや意見を伝える「言葉のキャッチボール」が、学級内でより良い人間関係を築く中で他を思いやる気持ちを醸成し、一人一人が安心して生活でき、自分の居場所があると実感できるような学級づくりにつながると思う。

4 単元の目標

- ① 織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係のあらましを通して、政治や社会の大きな変化を理解するとともに、武将や豪商などの生活文化の展開に気付く。
- ② 近世社会の基本となる仕組みに関心を持ち、身分制度を意欲的に調べようとする。
- ③ 戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航の背景について、年表や地図、文章史料から調べ、それが貿易とキリスト教布教と密接に結びつき、日本の社会に及ぼした影響について追究する。
- ④ 秀吉の政策による近世の幕開けを具体的な史料や事例に基づいて、多面的・多角的に考察する。
- ⑤ リーダーの条件」についてのディベートにおいて、明確な根拠を提示し、肯定、否定それぞれの考えを持ち主張を行うことができる。(技能・表現)

単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<p>戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航に対する関心を高め、意欲的に追究している。</p> <p>織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係のあらまし、武将や豪商などの生活文化の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。</p>	<p>ヨーロッパ文化の伝来が日本の社会に及ぼした影響を、キリスト教や鉄砲の伝来、南蛮貿易に注目して、多面・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航、織田・豊臣による統一事業と、当時の外交関係や文化に関する図版、史料、年表、歴史地図などの様々な史料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。</p>	<p>戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航について理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係のあらまし、武将や豪商などの生活文化の展開を理解し、その知識を身に付けている。</p>

5 指導計画（7時間扱い）

題材	学習内容	時配	評価基準
キリスト教世界とルネサンス	イスラム教の広がりや宗教改革によって、ヨーロッパや西アジアで起きた動きの概略を理解する。	1時間	イスラム教の広がりがヨーロッパに及ぼした影響や、宗教改革の動きのあらましを理解し、その知識を身に付けている。 (知識・理解)
ヨーロッパと外の世界	ヨーロッパ人が新航路を開いた目的を、おもにヨーロッパとアジアの関係から考える。	1時間	「16世紀ごろの世界」から世界の一体化を読み取るなど、歴史地図を活用している。 (技能)
ヨーロッパ人との出会い	南蛮人が日本にもたらしたものについて、図版から読み取る。	1時間	「南蛮人渡来図屏風」に描かれたものからその様子を様子を読み取り、南蛮貿易やキリスト教の広がりについて理解に活用している。 (技能)
織田信長・豊臣秀吉による統一事業	織田信長と豊臣秀吉の統一事業の過程を、その経済政策、宗教政策などに関連させながら理解する。	1時間	信長と秀吉による統一事業の過程やその政策のあらましを理解し、その知識を身に付けている。 (知識・理解)
兵農分離と朝鮮侵略	太閤検地と刀狩りによって、それまでとどのような点で異なった社会が生まれたかのかを考える。	1時間	兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し説明している。 (思考・判断・表現)
桃山文化	桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解しその特色が生まれた理由を考える。	1時間	桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力などの時代背景から考察し、適切に表現している。
特別単元 戦国武将に学ぶリーダーの条件	織田・豊臣・徳川の3名を通して、時代背景や人物像が政策に大きく影響していることを理解する。	1時間 (本時)	「リーダーに求める力」についての話し合い活動において、明確な根拠を提示し、肯定、否定それぞれの考えを持ち主張を行うことができる。(技能・表現)

6 本時の指導

(1) 本時の題材 戦国武将に学ぶリーダーの条件

(2) 本時の目標

- ①「戦国武将に学ぶリーダーの条件」についての話し合い活動において、明確な根拠を提示し、肯定、否定それぞれの考えを持ち主張を行うことができる。(技能・表現)

②「戦国武将に学ぶリーダーの条件」についてあげた自分の考えを、表1の項目に当てはめ考えることができる。(思考・判断)

③信長と秀吉による統一事業の過程やその政策のあらましが、時代背景や人物像の影響を大きく関係していることに気づき、その知識を身につける。(知識・理解)

(3) 本時の展開

時配	学習内容と活動	指導上の留意点
10	<p>1 本時の内容をつかむ。</p> <p>○信長・秀吉・家康の人物像やエピソードを見て、リーダーの条件について考える。</p>	<p>○パワーポイント使って確認し、信長・秀吉・家康の人物像がわかるように伝える。</p> <p>○学習への見通し、意欲を持たせる。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">戦国武将に学ぶリーダーの条件とは何か？</div>	
30	<p>○学習課題の発表</p> <p>2 リーダーに求める人物像・能力とは何かを考えて、自分の意見をまとめる。</p> <p><考える視点></p> <p>○簡潔な自分の言葉でまとめる。</p> <p>○イメージでかまわないので多くの考えをだす。</p> <p>3 自分が選んだ項目がどの分野に属するか整理する。</p> <p><考える視点></p> <p>○項目を選んだ理由や背景を考えながら、まとめていく。</p> <p>○他の項目より重要だと思う項目を選び、根拠をあげてまとめさせる。</p> <p>4 グループ活動</p> <p>○グループに分かれ、グループごとに大切だと思われる項目を3～4個に絞らせる。</p> <p><話し合いの視点></p> <p>○項目を選んだ理由</p> <p>○他の項目よりも重要であると考えた根拠</p> <p>○グループごとに、グループ内で話し合った内容を、代表者が発表する。</p> <p><発表の視点></p> <p>○項目を選んだ理由</p> <p>○他の項目よりも重要であると考えた根拠</p>	<p>○イメージを大切に、その言葉を付箋紙に書き留めさせる。</p> <p>○学習プリントを配布し、項目が「人格・能力」「物」「公正」「効率」のどの部分に入れるか根拠を聞きながらまとめさせる。</p> <p>○1グループに大きな付箋紙を用意し、自分たちの中から重要であると考えた項目を書き込むように指示をする。</p> <p>○グループ内で他のグループを納得させられるような意見にまとめ、発表者を決めさせる。</p> <p>○クラス全体の前で効果的なプレゼンテーションが行えるよう考えさせる。</p> <p>○他のグループの発表をしっかりとときかせるとともに、納得のいかないところはメモを取らせて質問させる。</p>

10	<p>○全てのグループの発表がおわったところで意見交換を行う。</p> <p>○席を個人に戻してまとめの準備をする。</p> <p>5 まとめ</p> <p>○ビジネス書や歴史書が述べているリーダーとしての条件を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を惹きつける力 ・時代に関係なく普遍的な物 ・その時代に求められていた物 <p>○信長、秀吉、家康のリーダーの資質は何だったのか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信長「人を支配する力」 ・秀吉「人を操る力」 ・家康「人を取り込む力」 <p>○学習プリントに改めて「戦国武将に学ぶリーダーの条件とは何か？」を自分の言葉でまとめさせる。</p> <p>○話し合い活動のチェックシートに記入をさせる。</p>	<p>○少数派の意見も大切にさせる。</p> <p>○生徒への問いの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの中でどんな点に刺激を受けたのか。 ・誰の意見が心に残ったのか。 ・他の人の意見を聞いて自分の考えは変わったのか、変わらなかったのか？ <p>○リーダーとしての条件は、普遍的な物やその時代によって求められていた物があることを考えさせる。</p> <p>○リーダーとしての条件が現在にも当てはまることを考えさせ、情報があふれる現在、自分というものを持ちながら、必要な情報を選択していく能力の重要性について考えさせる。</p> <p>○本時の感想や自分の考えを自分の言葉でまとめるように促す。</p> <p>○チェック項目に従って話し合い活動の振り返りをするように促す。</p>
----	---	---

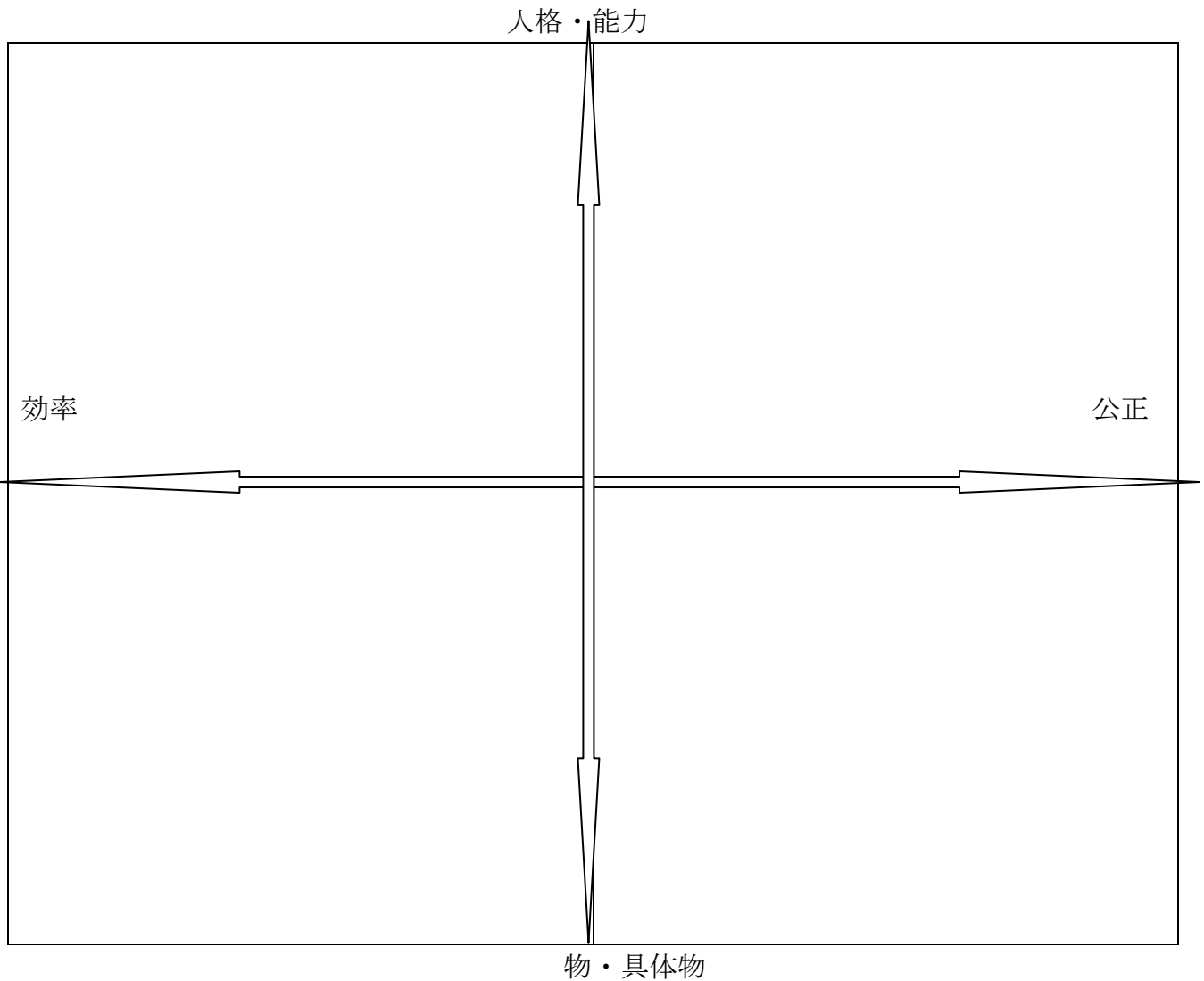
(4) 評価

- ①「戦国武将に学ぶリーダーの条件」についての話し合い活動において、明確な根拠を提示し、肯定、否定それぞれの考えを持ち主張を行うことができたか。(技能・表現)
- ②「戦国武将に学ぶリーダーの条件」についてあげた自分の考えを、表1の項目に当てはめ考えることができたか。(思考・判断)
- ③信長と秀吉による統一事業の過程やその政策のあらましが、時代背景や人物像の影響を大きく関係していることに気づき、その知識を身につけられたか。(知識・理解)

様々な武将が登場し活躍する近世の学習が終わりました。今回の授業では、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の人物像やエピソードを通して、国を治める人物の条件、政権を継続するための条件など、リーダーとして何が必要なのかを考えてみよう。

(1) 自分の考えをまとめてみよう！！

「戦国武将に学ぶリーダーの条件とは何か？」付箋紙に書いた自分の意見を以下の項目にしたがって、振り分けてみよう。



効率とは・・・
時間やお金、もの、労力などを無駄なく使うことを最優先とする。

公正とは・・・
不当に制限されること、結果が不当なものにならないことを最優先とする。

(2) 自分の考えに優先順位をつけよう！！

優先順位を1位～3位までを決定しよう！！

①	②	③
---	---	---

